

いろいろなロボコン大集合！ ロボコンプロデュースコンテスト 2007

<http://www.rc.mce.uec.ac.jp/procon2007.htm>

主催：(社)日本機械学会

企画：(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門

運営：(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門

メカトロニクス教育研究会，第0地区（関東地区）技術委員会

協賛：電気通信大学 ロボメカ工房，(株)山崎教育システム

開催日時：2007年12月9日（日） 13:00～17:00

会場：電気通信大学 東5号館ロビー（東京都調布市調布ヶ丘1-5-1）

京王線「調布」駅下車北口より徒歩5分

近年，日本全国でロボットコンテストが盛んに行われており，青少年の創造性教育に大いに役立っています。これまでのロボットコンテストではコンテストに参加することによって，ものづくりの大切さ，仲間との協力を学ぶことに重点が置かれていました。しかし，高度技術社会で活躍する技術者には，斬新なアイデアを提出し，それを実現し，さらに，その良さをアピールする能力が必要とされています。そこで，それらの能力を向上させる一助として，「小・中学生を対象とした新しいロボットコンテスト（ロボコン）」の企画・運営をシミュレートし，その面白さ，独自性，企画力，技術的内容，完成度，プレゼンテーション能力を競うロボコンプロデュースコンテストを実施します。ご参加・ご来場をお待ちしています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.rc.mce.uec.ac.jp/procon2007.htm>

競技内容：(詳細は別紙参照)

新しいロボットコンテストを企画し，そのおもしろさ，独自性，企画力，技術的内容，完成度，プレゼンテーション能力などを競います。

日程(予定)：

12:30 集合

13:00 - 13:20 開会式・競技内容の説明

13:20 - 16:00 コンテスト

16:00 - 16:30 デモンストレーション

16:30 - 17:00 表彰式・閉会式

参加資格：大学・大学院の学生1名以上のチームによる。

参加特典：

(1) 競技場の輸送費の補助

(2) 山崎教育システム社製「自由パワーユニット」「自由スピードユニット」各2台または相当品

賞：最優秀賞 (1チーム) 賞状および副賞

優秀賞 (1チーム) 賞状および副賞

特別賞 (2チーム) 賞状および副賞

問い合わせ先：電気通信大学 知能機械工学科 大竹 博

電話&FAX (042) 443-5430/E-mail : hohtake@mce.uec.ac.jp

いろいろなロボコン大集合！ ロボコンプロデュースコンテスト 2007 競技規定

競技内容：

皆さんのグループは、それぞれロボコン企画会社です。すばらしいロボコンを企画してください。評価のポイントは「独創性」、「完成度」、「教育効果」、「プレゼン」の4つです。提出書類・プレゼンを総合して値段をつけて総合評価とします。高く売れるロボコン企画を考案してください。ロボコンの優劣は競技内容だけではありません。ロボコンを実施するためにはいろんな準備が必要です。その過程を模擬的に体験・シミュレーションしてもらいます。ロボコン企画はプレゼンテーションによって最終的に評価されます。どんなにすぐれた企画でも、その良さを決められた時間内にうまく伝えられなければ高値で買ってもらえません。プロモーションビデオ 10 分を含めて効果的なプレゼンテーションを行ってください。

このコンテストは、次の3つのプロセスからなっています。

(1) 小・中学生を参加対象とするロボコンを考案する

1. 小・中学生を対象とした、わかりやすく楽しく、小・中学生への教育効果が期待できる競技(ロボコン)を企画する。参加チームには、実行委員会からロボットキット(山崎教育システム製)が配布される。企画するロボコンは、このロボットキットを用いて、小・中学生にも作ることができるロボットを用いた競技とすること。対戦形式は特に規定しない。ルールは子どもたちにも理解しやすいことが望ましく、また、教育効果を考慮して、子どもたちがロボットの機構に工夫をしやすい競技が望ましい。

(2) ルール集、運営マニュアル、競技フィールド、デモ用ロボット、プロモーションビデオを製作する

2. 競技の進め方・ルールなどを説明したロボコンのルール集と、このロボコンを実施するための運営マニュアルを作成する。ルール集は、参加者に配布されるもので、競技について小・中学生でもよく理解できるように記述すること。また、ロボットの製作についても必要な情報を記載すること。運営マニュアルは、ロボコンを実施しようとしているひとに必要な情報を与えるためのものである。ロボコン運営スタッフが、事前の準備から、当日の運営、事後の対応まで必要な作業と、その手順のすべてを記述すること。また、ロボコンの意義や競技の教育的効果についても記述する。

ルール集と運営マニュアルはA4の用紙サイズで作成し、PDF形式で電子メール添付にて実行委員長(hohtake@mce.uec.ac.jp)宛てに、12月4日(火)までに提出してください。なお、ファイルサイズは5MB以内とします。

3. 競技フィールドは3m×3m以内とする。ただし、運搬などを考慮して、折りたたみ・分解などができるように設計すること。
4. 配布されたキットのほか、各チームで用意したものを自由に使える。フィールド上に置くものや、ロボットにつけるものなど、必要なものは各チームで調達する(自己負担)。
5. プロモーションビデオ(10分程度)は、ビデオをみただけで競技内容が理解できるもので、ルール説明のほかに、ロボットの作り方などについて説明しても良い。

(3) ロボコンの内容・実施方法などについてプレゼン(発表)する

6. 当日は、考案したロボコンについてプレゼンし、実際に競技のデモを行う。プレゼンではプロモーションビデオも利用すること。プレゼンの資料(プロモーションビデオなど)は当日持参してください。
7. プレゼン(デモ、プロモーションビデオを含む)時間は各チーム15分以内とする。

審査のポイントと総合評価

事前提出書類（ルール集と運営マニュアル）と競技の「独創性」、「完成度」、「教育効果」、「プレゼンテーション」を評価します。また、審査員が「いくらならそのロボコンを購入したいか」値段を付け総合評価とします。高く売れるロボコンを考案してください。

本コンテストに関連して次の電子ファイルの作成・提出が必要です。

1. 運営マニュアル(スタッフ用)

運営マニュアルは、ロボコンを実施しようとしているひとに必要な情報を与えるためのものです。ロボコン運営スタッフが、事前の準備から、当日の運営、事後の対応まで必要な作業と、その手順のすべてを記述します。また、ロボコンの意義や競技の教育的効果についても記述します。

2. ルール集(参加者向け)

ロボコンの参加者は小・中学生を想定しています。ルール集は、その参加者に配布されるもので、競技について小・中学生でもよく理解できるように記述します。また、ロボットの製作についても必要な情報を記載します。

3. プレゼンテーション

このコンテストはプレゼンテーションによって最終的に評価されます。どんなにすぐれた企画でも、その良さを決められた時間内にうまく伝えられなければ高値で買ってもらえません。プロモーションビデオ 10 分を含めて効果的なプレゼンテーションを行ってください。プレゼンの資料(プロモーションビデオなど)は当日持参してください。コンテスト後に提出していただきます。

重要な期日

11月20日（火）：参加申し込み締め切り

12月4日（火）：ルール集・運営マニュアル提出締切

12月9日（日）：コンテスト当日

なお、競技に参加したロボコンの企画、ルール集、運営マニュアル、プレゼンテーション資料などのコピーライトは日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門メカトロニクス教育研究会に帰属するものとします。また、競技に参加したロボコン企画の概要は、後日、大会ホームページ上に掲載されます。